

# 2014年度自己点検・評価報告書(シート)

## 【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

### 《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

### I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	理工学研究科
大項目	0 理念・目的 (研究科)
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員(教職員および学生)に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

### II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

#### 《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 理念、教育目的が新中期計画と矛盾していないか2010年度中に点検し、矛盾している場合2013年度中に再設定する。	→再検討結果の報告書。	C	C	B	B	A
2. 理念、教育目的を教員及び学生に対して2010年度中に周知徹底する。	→公表したホームページ。	B	A	A	A	A
☆						
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

#### 《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 新中期計画と理工学研究科の理念・目的の整合性は、2011年度にディプロマポリシーを策定した際、点検した。また、毎年4月に研究科委員会で教員に周知しているが、2012年にはより適切な文言するように指摘があり、改定を行った。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 理工学研究科の理念・目的は、新中期計画と整合性が取れていることが確認できた。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 新中期計画の進捗にともなう大学全体の改革を睨みながら、理工学研究科の理念・目的の適切性について継続的に点検していく。	☆
		その他	☆

目標2	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 理工学研究科の理念・目的は、ホームページ( <a href="http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/ja/modules/about/index.php?id=21">http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/ja/modules/about/index.php?id=21</a> )に公表した。また、毎年4月の研究科委員会で、教員に周知した。学生に対しては、入学時の履修指導の際に周知徹底している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 毎年4月の研究科委員会で、理念・目的を読み上げて周知徹底を図っているが、文言について、より適切なものとなるように議論が行われ、教員の意識が高まった。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も引き続き周知徹底を図っていく。	☆
		その他	☆
備考			☆